

盆踊り・大綱曳



8月13日の福良盆踊り、14日の大綱曳と福良湾海上花火大会が今年も開催されました。13日の盆踊りには、子どもから大人まで12連が参加。独特のお囃子に合わせ華麗な踊りが披露されました。心配された天気も参加連の勢いにはかなわなかったようです。

14日午後2時から豊作や豊漁を祈願した伝統行事である大綱曳。慈眼寺を中心に福良商店街に登場した太さ約20cm、長さ200mもの大綱を、景気づけに水をかけられながら、ねじり鉢巻きにふんどし姿の若者が東西に分かれて力いっぱい曳き合いました。今年は西が勝利したことから豊漁が期待されます。

午後6時から花火大会のオープニングイベントがなないろ館前特設ステージでスタート。美鼓音や水軍宴太鼓 MIKAWA による力強い和太鼓の演奏のほか、今年はいじめて参加した打楽器によるバンド演奏も披露されました。午後8時から打ち上げ花火がスタート。恒例となった1尺玉を含む約1,500発の花火が福良湾一帯の夜空を音と光で彩りました。



南あわじ市市民まつり 第34回慶野松原花火大会



慶野松原海水浴場で7月28日、第34回慶野松原花火大会が開催されました。昨年の同花火大会で華々しいデビューを飾った「いぶし瓦の銀さん」。その銀さんと地元幼稚園・保育園児による可愛い踊りでオープニングイベントがスタート。淡路三原高校による華麗なダンスとソーラン節が披露されたほか、今年初めて太鼓衆 葦の和太鼓の演奏に合わせてトランポ・ロビックスが披露され、和太鼓の力強い演奏と子どもたちの踊りに訪れた人たちは見入っていました。

辺りがすっかり暗くなった午後8時、太鼓衆 葦の力強い和太鼓の演奏が終わると同時に花火が打ち上げられました。今年は東日本大震災の復興を祈ってフェニックスの形をした花火が打ち上げられたほか、淡路島に因んだうず潮や花を表現した花火など3,400発の大輪の華が慶野松原海水浴場の夜空を彩りました。1万5,000人の観客は、夏の暑さを忘れ神秘的な光の世界に魅了されていました。



南あわじ市市民まつり 福良湾海上花火大会

